

協働事業評価シート

実施年度	平成 29 年度
提案種別	<input type="checkbox"/> 市民提案型 <input checked="" type="checkbox"/> 行政提案型
事業の名称	手話を知るための講演会
団体名	社会福祉法人富士見市社会福祉協議会
担当課名	障がい福祉課

【推進委員及び庁内委員による総合評価】

結果	協働事業の評価
○	当該協働事業を実施したことで、具体的に市民サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものである。
	ほぼ適切な協働事業として評価できるものである。
	協働事業として、うまく機能しなかった。
協働事業に関する総評	<p>実施団体の持つ人脈により知名度の高い講師を招き、行政の持つ多彩なPR手法を活用することで、実施団体と行政の双方の強みを活かして高い集客を得たことは、協働事業のお手本となるような有益な事業であったと思います。市独自ではなかなか難しい事業でしたが、ノウハウを持つ団体と協働で実施したことで多くの参加者があったことは、費用対効果の面からも高く評価できると思います。両者の連携により、種々のノウハウが蓄積・共有され、事業実施パートナーとしての関係も深まったことと思います。また、富士見市聴覚障害者の会や富士見手話サークルなど、多くのボランティアスタッフの協力も得るなど、より幅広い協働がなされています。</p> <p>ただ、事業の目的「手話を知ってもらうと共に聴覚障がい者について理解を深めてもらうこと」からすれば、この講演会は、これまでの生活において手話や聴覚障がい者の存在について考える機会がなかった市民に向けて開催されたものであると思いますので、そのような層からの参加がどれくらいあったのか検証していく必要があると思われます。</p> <p>市民に聴覚障がい者について理解を深めてもらうことを第一歩とし、その先に共生社会の実現を目指していくなかで、今後もそれに向けた施策を市民に積極的に示してほしいと思います。</p>

